

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成26年7月17日 (2014.7.17)

【公開番号】特開2012-41040(P2012-41040A)

【公開日】平成24年3月1日 (2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-172588(P2011-172588)

【国際特許分類】

B 6 0 C 9/18 (2006.01)

B 6 0 C 9/20 (2006.01)

B 6 0 C 9/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 9/18 Q

B 6 0 C 9/20 C

B 6 0 C 9/00 G

B 6 0 C 9/00 C

B 6 0 C 9/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月30日 (2014.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カーカスとベルト補強構造とを有し、複数のフランジを備えるリムに取付けられる空気入りタイヤであって、

前記ベルト補強構造は、赤道面に対して 5 ° 以下の角度で配置された複数のコードを有する第 1、第 2 及び第 3 のベルト層と、各々が前記タイヤの前記赤道面に対して 5 ° から 30 ° 傾斜し各横縁部の所の折り返し点まで交互に延びるコードの 2 つの層を形成する、第 1 及び第 2 のジグザグベルト補強構造とを有し、

前記第 1 のジグザグベルト補強構造は最も幅の広いベルト層であり、前記ベルト層のうちの 1 つは、前記第 2 のジグザグベルト補強構造の幅よりも大きな幅を有し、

前記第 1、第 2 及び第 3 のベルト層のうちの少なくとも 1 つは、前記フランジ同士の間の前記リムの幅の 13 % から 47 % の範囲の幅を有する、空気入りタイヤ。

【請求項 2】

前記第 1、第 2 及び第 3 のベルト層のうちの少なくとも 2 つは、前記第 2 のジグザグベルト補強構造の幅よりも大きな幅を有する、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 のベルト層は、2 つのらせん層を形成しているらせん状に巻かれたコードによって形成されている、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 4】

前記第 1 のジグザグベルト補強構造の幅 W_z と幅が最大であるベルト層の幅 W_s との比は、 $0.6 < W_s / W_z < 1$ である、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 5】

1 つ以上の前記ベルト層は、ナイロンとアラミドの混合物で作られた複数のコードを有する、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 6】

1 つ以上の前記ベルト層は、アラミドで作られた複数のコードを有する、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。